

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 6年 3月 11日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470214408		
法人名	シューペルブリアン株式会社		
事業所名	グループホーム輝き ゆきの家		
所在地	〒738-0512 広島市佐伯区湯来町白砂423-2 (電話) 0829-40-5353		
自己評価作成日	令和6年2月13日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470214408-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和6年3月7日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>穏やかに日頃の幸せを忘れない毎日を過ごせるようご支援させて頂いています。 又、地域、家族との繋がりを大切にしています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>利用者が興味がある事・したい事を見出し一緒に行動し、利用者が笑顔で過ごせるよう取り組んでいる。職員も笑顔で接し利用者に「ありがとう」と伝えて笑顔が見えるよう努めている。運営推進会議には地域包括支援センター・地域代表・広島市認知症地域支援推進員など多職種が参加して意見交換を行っている。地域行事に積極的に参加し誕生日に近隣のカフェで楽しんでいる。施設で実施する100歳体操に地域住民も参加している。地域包括支援センターと連携して認知症カフェの開設準備を行っている。事業者が「福祉避難所設置」の市認可を受け、今後は災害時に「介護が必要な人の受け入れ施設」として活動する予定である。 災害時、利用者の個人情報を入れた防災ベストを着用し避難するように準備している。また「高齢者いきいき活動ポイント」の活用の検討など事業所独自の工夫をしている。</p>
--

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「笑顔の種」と「日頃の幸せを忘れない毎日」をお見守りする支援を心がけている。	理念を毎朝の引継ぎ時に唱和し共有している。理念の「笑顔の種」「日頃の幸せを忘れない毎日」を実践するよう取り組んでいる。笑顔が出る事を見いだし一緒に行動して、利用者が笑顔で過ごせるよう取り組んでいる。笑顔が見えたら利用者に「ありがとう」と伝えている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	百歳体操等通じて地域の方とコミュニケーションを図っている。	盆踊り、秋祭りの神楽、とんどの地域行事に利用者が参加している。施設で実施している「100歳体操」には地域住民も参加している。地域の草刈に協力し、地域農家から米を購入し、消防団との連携など地域とのつながりに努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	初詣や地域のとんどなど積極的に行事等参加している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	定期的な運営推進会議にて事業所での状況や月の行事等の報告を行っている。	運営推進会議には、利用者・家族代表・地域住民代表・広島市認知症地域支援推進委員など多職種が参加している。会議では転倒防止や困難事例に関して活発な意見交換を行っている。地域包括支援センターからは利用者が行きやすい近隣のカフェの情報提供があった。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	介護保険認定調査の申請や手続き等わからない事があればすぐに市町村担当者に連絡をとり指示を仰いでいる。	地域包括支援センターと連携して認知症カフェを開設する準備を行っている。地域包括支援センターから介護に関する助言や地域との連携に関する情報提供がある。市生活課担当者と連携して利用者支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	利用者様の心身の状態を現場での実情を元に身体拘束を行わない方向性を追求していく。それでも一時的に行わなければならない場合必ずご家族様と相談し同意を求める書類を作成している。	身体拘束廃止委員会を設置し運営推進会議で事業所の状況を報告し意見交換を行っている。身体拘束予防に関する研修を毎月行い、事例検討も行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	月1回の定期的な研修で利用者様の訴えなどを職員間で共有し利用者様、ご家族様との情報共有に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	各種関係機関と連携し包括的な支援を行っている。佐伯区生活課への相談業務を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	管理者がご家族様へ説明を行い改定時にご家族様の同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族様に状況を説明し意見、要望を求めている。請求時に利用者の状況を書面で送っている。	家族の面会時に家族の要望を聞いている。今年度は家族参加の食事会を開催し要望を聞くことが出来た。食事会を継続して行い、家族の要望を把握したいと考えている。年に1回、家族へのアンケートを実施し意見を聞いている。家族にオンライン面会を紹介し、家族が利用するようになった。	アンケートを実施しているが、内容が集約されていない。今後は、家族の意見・要望から改善点を職員と話し合い、実施することを期待する。また、アンケートの総括と改善内容を家族へ報告する事を要望する。

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回のミーティングにて職員からの提案や改善策を聞き取り代表者に報告、検討している。</p>	<p>毎月の職員会議で職員の意見を聞いている。職員から、利用者の下肢筋力低下防止として手すりを持って足踏みをすることが提案され、実施するようになった。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>管理者も一般職員と同様に現場に入る事で職員個々の動きを把握し、協力的に働くことで職員の環境整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>代表者の指示のもと職員間で疑問があれば話し合い、お互いの知識を交換し合うことで技術を向上させている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>現在は相互訪問等の活動は出来ておらず、電話連絡等の際に情報交換する事でサービスの質の見直しを行っている。今後は同グループの他施設などと相互訪問を行い意見交換などを行って行く。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前に施設見学、説明等で納得していただけるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	当施設の利用状況やサービスについて丁寧に説明し要望をお伺いしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人、家族様からの要望に可能な限り対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	本人の要望や問題を共に解決し日々生活して頂いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会や差し入れ等可能な限り協力して頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	その様な話をされている場合は傾聴し共感するよう努めている。	暑中見舞い・残暑見舞い・寒中見舞いなどを職員と一緒に作成し、家族に郵送している。今年度は、利用者と家族の関係を深めるために、家族との食事会を開催した。今後も継続し、馴染みの人との関係継続を支援したいと考えている。	

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	職員が間に入り利用者様の会話の手助けをするようにしている。レクリエーションで利用者様皆さんで出来る事を考え参加してもらっている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	終了後も関係を保ち支援可能な事をお伝えしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望等可能な限り答えている。	日常生活の中で、利用者が興味のある事を見いだして職員間で共有し支援する方針である。運営推進会議に出席し、毎回挨拶を行う事がきっかけとなり集団活動に進んで参加するようになった事例がある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	今までの情報を確認して把握している。コミュニケーションが可能な利用者様には直接聞き取りをしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	足のむくみ等がある方は歩行の声掛けを行い見守りにて歩行やその場での足踏み等を行って頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>毎月ミーティングにて個人の状況を見ながら現状に即した計画の作成を行っている。申し送り等で出た意見等を検討し現状にあったケアをしている。</p>	<p>ケアプラン実施状況は、ケアプラン実施表を職員が毎日チェックしている。計画作成者は1か月のケアプラン実施状況を確認し、職員に利用者の状況を聞きモニタリングを作成している。その後、ケアプランの見直しが必要であれば、本人・家族、医師の意見を聞きケアプラン作成をしている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子やケアの実践、結果、気づきを記入し職員間で情報を共有し実践につなげている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人や家族の状況、ニーズに柔軟に対応するように取り組んでいる。個々に合わせその時にあったケアを実践している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域周辺の散策等しながら季節を感じてもらっている。地域の行事に参加し楽しむ事が出来るように支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人、家族様の希望を重視し家族の協力を得ながら適切な医療が受けられるよう支援している。原則家族様に病院受診をお願いしている。</p>	<p>本人・家族の要望でかかりつけ医を決めている。利用者のほとんどが、協力病院医師をかかりつけ医としている。協力病院医師は、毎月2回訪問診療し利用者の状況を把握している。利用者の体調不良時は訪問看護師に連絡し、かかりつけ医と連携し対応できる体制がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	パソコンの掲示板やホワイトボード等を利用し常に看護職員や訪看等に情報を提供し対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	管理者や看護職員を通じ職員間で常に状態を把握し相談、対応できるようにしている。病院内でどのような対応をされているか生活されたかを記録したものを共有している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した場合、本人確認の指示が入らない状況の場合主治医との連携を取り合いながら家族への説明、方針を伺い支援できるようにしている。	利用開始時に「重度化・終末期対応指針」を説明し、本人・家族の意向を確認している。重度化した際には、医師が判断して家族に説明し家族の要望を把握し、要望に沿った支援を行っている。必要があれば医療機関への対応も行っている。直近の3年間に4件の看取り事例がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	管理者への報告、バイタルチェックを欠かさず行っている。実践できるよう常に身につけるよう努めている。緊急時対応マニュアルを作成し職員の対応が統一出来るようしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に避難訓練を行い役割分担し地域とも関わり合いを持ち、テレビやその他の情報をいち早く受け取り対応している。	年2回の消防訓練では、1回は夜間対応とし利用者も参加して実施している。緊急連絡対応訓練では消防団の助言を得て実施し、職員への緊急連絡と返信方法を決め実施するにした。災害時、利用者の防災ベストに健康状況などの個人情報を入れて着用するようにしている。	

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人生の先輩として尊敬しその家族を守り身の回りのお世話をさせていただく。という気持ちで言葉遣いに留意しながら接するよう努めている。	人生の先輩として尊敬し、利用者の思いを尊重し、利用者の思いに沿って支援するよう取り組んでいる。定期的に職員会議で接遇研修を行っている。利用者が不穏な状況の際は、職員は落ち着いて利用者の話に耳を傾け、穏やかに対応するよう努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常の会話を通じて親近感を高め思いや望みを話しやすい環境に整え全体のバランスの中で利用者の思いを実践できるように心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	可能な限り利用者のペースで進め、ペースを乱さないように心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	希望者には美容師が訪問しカットをして頂いている。入浴時の着替えや日々の服も職員と一緒に考え選んでいる。また男性の髭剃りも見守りにて行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事前後のテーブル拭きやお盆拭き、食器洗い等して頂いている。	食事は調理済の食材を温める方式で、3食とも地元の米を炊いて提供している。おせち料理や敬老会では弁当、家族との会食では小さな寿司とデザートを提供している。正月は利用者と団子を作りぜんざいを作った。静かな音楽を流し落ち着いて食事できるように配慮している。	

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>入居者一人ひとりの毎日の体調管理を行い食事量や水分摂取量に気をつけて提供できるよう支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>ご自身で行える入居者は声掛けを行いそうでない入居者は介助や見守りで口腔ケアを行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>定期的にトイレ誘導し排泄を促している。</p>	<p>利用者毎の排泄状況を把握してトイレ誘導を行っている。夜間の排泄失敗対策を職員間で話し合い、トイレ誘導時間を検討し利用者に応じた時間を設定し、排泄失敗が改善された事例がある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分摂取と腸内体操などを行っている。一人ひとりの周期を確認し主治医や訪問看護に相談し指示を仰いで便秘薬などを提供している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週2回声掛け・見守りにて入浴されている。ご自身で入れない入居者は全介助にて気持ちよく入浴をしていただいている。</p>	<p>週2回、入浴するようにし、入浴中に香りを楽しんでもらえるように入浴剤を入れている。入浴を拒否する利用者には、強制せず、入浴の必要性を説明して納得して入浴するように対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>時間で定期巡室し安全を確認している。ホールで過ごされたり居室で休息したり自由に出来るよう支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>訪問看護に報告し指示を仰いでいる。服薬の情報をファイルし職員がいつでも確認できるようにしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>掃除をされたり、家事の手伝いをされたり、気分転換に施設周辺で外気浴を行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>季節を感じていただく為戸外に出掛けている。地域の行事に少人数ではあるが参加している。</p>	<p>天気の良い日は散歩や外気浴を行っている。地域行事に積極的に参加し、誕生日には近所のカフェでケーキを楽しんでいる。少人数のグループでお花見や近隣の神社に初詣に出かける。100歳体操のポイント還元を利用し買い物外出の計画を検討中である。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>入居時貴重品等は家族様に預かって頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	遠方の方等、電話やオンラインで話をされている。希望があれば都度対応している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ホールの飾りを季節ごとに替え季節感を出している。	毎朝、居室とリビングを利用者と一緒に掃き掃除を行い、職員は毎日トイレ・洗面台・手すりの掃除と消毒を実施して清潔に保っている。温度・湿度・換気に留意し、定期的にエアコンの掃除を行っている。利用者と一緒に作成した季節の飾りを掲示している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	You Tubeで映画や歌を聞くなど安心して過ごされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	行動スペースを確保し安全を配慮している。写真等を置き居心地の良い居室になるようにしている。	家族の写真を飾ったり趣味の手芸の道具を持ち込む利用者がある。本が好きな利用者は、居室の棚にある本に触れたり持ち歩く事を楽しんでいる。利用者はそれぞれ工夫して過ごしやすい空間としている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	一人ひとりの出来る事を、せまいながらに生活改善に取り組んでいる。		

V アウトカム項目(Bユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	職員の目に入る場所に掲示している		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事に参加している（夏祭り・秋祭り等）いきいき100歳体操を施設内で行い、地域の方々にも参加していただいている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	支援してきた介護方法など地域に活かせる機会をもち還元していきたい		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	行事やサービスに関して報告を行い意見を頂いている		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議で意見や助言を頂いている		

自己評価	外部評価	項目(ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>行動制限のないように見守りを行い安全確認をしている</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>定期的に研修を行っている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>勉強会があり学ぶ機会がある</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約説明の際にはグループホームの趣旨を理解頂くよう努めている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者の要望などは耳を傾けるようにしている。家族には面会時等に要望を聞くようにしている</p>		

自己評価	外部評価	項目(Cユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	月に一度のミーティングを開催し各職員とのコミュニケーションを図り意見や提案を取り入れている		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	職員個々の努力や勤務状況を把握し、評価している		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	社内での研修を定期的に行い、社外での研修も積極的に参加している		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	Zoom会議等の参加で情報交換を行っている。相互訪問等の活動を通じて業務改善に努める		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	事前に施設内を見学して頂いたり、体験して頂き不安や要望を傾聴している		

自己評価	外部評価	項目(Cユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族の不安、要望を傾聴し、個々に応じたサービス提供に努め支援を行っている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	事前訪問の機会を設け本人や家族の不安・要望を傾聴している		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	自分で出来る事はして頂き話をしたり、しぐさや表情から状況の把握に努め、楽しく共同生活が送れるよう支援している		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会にも来て頂き、家族交流会にも参加して頂いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族から馴染みの人や場所等を聞き、本人と話をしている		

自己評価	外部評価	項目(Cユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者の特徴を把握し座席を考慮しながら、レクリエーションを通じ関係性の良好を保てるよう配慮している		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご家族とメールや電話を通じ、いつでも支援させて頂くことを伝えている		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	生活歴を考慮し、本人様の思いを汲み取り本人らしく生活できるよう支援を行っている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人様、家族様より生活歴をお聞きしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々の能力に応じた支援に努めている		

自己評価	外部評価	項目(ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>日々の生活状況を把握し毎月のミーティングで支援方法を模索し検討している</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>連絡ノートを活用し情報の共有を図っている。又、毎月のミーティング内で情報の周知を図っている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>毎月のミーティングの際に支援方法を検討している</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>施設周辺の散歩や地域行事の参加により、地域資源を把握し、楽しみを感じられるよう支援を行っている</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人様・家族様の理解を得てかかりつけ医を決定している</p>		

自己評価	外部評価	項目(ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	利用者の変化や気づきなどは記録を行い、週一回の訪問看護にて報告・相談を行っている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した病院へ定期的な連絡を取り、医師や看護師などとの関係づくりや情報交換を行っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご家族に記入して頂いた延命治療に関する書類の内容を元に主治医や訪看とスムーズに連携が取れるよう努めている		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時対応マニュアルを作成し、緊急時に職員が取るべき対処の手順を施設内全体で共有している		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防訓練や避難訓練などを年に2回ほど、職員や利用者で行っている 協力施設への連絡体制も整えている		

自己評価	外部評価	項目(ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	接遇に関する研修を定期的に行い、プライバシーに配慮した対応や声掛けを心がけている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表現したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人の意志や希望に配慮した声掛けや対応などを心がけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者の趣味や性格などを職員が把握し、その人に応じたレクリエーションを提供するなどその人にあった対応を心がけている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時に御本人での洗顔や整髪が困難な利用者に対しては介助にて支援を行っている また、定期的に訪問理美容にも来ていただいている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の際にはBGMをかけて落ち着いて食事ができるよう配慮している また、食後の下膳やお盆拭きは利用者にも協力して貰っている		

自己評価	外部評価	項目(Cユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>個々に応じた食事形態や量を職員間で情報共有し、支援を行っている</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、声掛けにて口腔ケアを行っている 個々に応じて自立できない利用者は支援を行っている</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄状況を確認できる表を用い、個々にあった支援を行っている</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便管理を行い、職員間で共有し、野菜や水分を取るよう声掛けをしている 歩行練習などの声掛けや支援を行っている</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>個々のペースに合わせて、入浴の支援を行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目(Cユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>個々の状況に応じて職員間で情報共有し、休息の時間を作っている 季節ごとの寝具など支援している</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>この薬情報を職員がいつでも確認できる場所に保管し、症状の変化があれば職員間で情報を共有している</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>掃除や洗濯物量みなど、役割の支援を行っている</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>地域の行事に参加するなど、地域の理解を頂きながら交流できるよう支援を行っている</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>希望される利用者にはご家族同意のもと少量のお金を管理してもらっている</p>		

自己評価	外部評価	項目(Cユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>遠方の方や希望されるご家族様にはZOOM・電話でお話をされている また、季節ごとに絵はがきを作成しご家族に郵送している</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節ごとにフロアの飾り付けを変えたり、生活感や季節感を取り入れている</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>席の配置することにより同テーブルの方と気軽に会話を楽しまれている 一人が好きな方は一人席を設けるなど工夫している</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご本人にとって安心した居心地の良い居室となるよう、馴染みのものや写真を配置し安全を配慮して生活されている</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレや洗面台の場所を分かりやすく表示し、生活改善に取り組んでいる</p>		

V アウトカム項目(Cユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム輝き ゆきの家

作成日 令和6年4月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	10	アンケート実施後に改善点等の検討をしてなく家族様への報告もできていない。	意見、要望等を協議し運営に反映する。又、報告を行う。	アンケートを集計、意見や要望等を職員で話し合い結果を報告。	6ヵ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。